



〒520-0041  
滋賀県大津市浜町1-38  
滋賀銀行従業員組合  
TEL 077-521-2775  
FAX 077-525-5232  
http://www.biwa.ne.jp/ffs/  
e-mail:ffs@biwa.ne.jp

申の天の荒  
1,000人

# 被災のない社会へ びわこ集会

## 忘れないフクシマ まもりたいいのちとびわ湖

3月10日(日曜日) 大津市の膳所公園と生涯学習センターで「原発のない社会へ びわこ集会」が同実行委員会の主催で開催されました。この日は、東日本大震災と原発事故から2年という節目を前に、原発をなくす全国連絡会が「全国一斉行動」を呼びかけ、3月10日を中心に全国47都道府県300カ所以上で集会やデモ、学習会や宣伝などの行動が取り組まれました。

この日は、「被災者本位の復興を」「原発ゼロを実現する政治に変えよう」という国民多数の声と行動が列島を揺るがしました。

闘いは、明るく、楽しく、しつっこく

3月10日の大津市は冷たい雨風やアラレが降る悪天候のなか「びわこ集会」には1000人を超える人々が参加し、組合員や家族、先輩組合員、さまざまなネットワークから6人が参加しました。生涯学習センター1階ホー



ルで行われた福島出身の講師 談師神田香織さんのトークショーは満席の盛況となり



また、村西愛荘町長、藤澤日野町長が挨拶、滋賀農

## 主張

米国の経済は昨年「財政の崖」問題をなんとか回避し、低所得者への減税継続を決定した。この、リーマンショック以降の景気対策の柱である低所得者への減税は、消費者心理を改善し個人消費は堅調に推移していると、某金融機関の調査レポートで述べている。また、何よりも米国のホワイトハウスが所得税減税について「中間所得層以下の延長が出来なかつた場合、2013年の個人消費の伸び率を1.7ポイント押し下げる」との試算を発表していることから減税効果は明らかである。

債務危機をむかえた欧州はどうかといえ、財政問題に加え、雇用・所得環境の悪化により厳しい状況が続いている。特

## 米国の「財政の壁」回避と安倍内閣の「緊急経済対策」

3月10日の大津市は冷たい雨風やアラレが降る悪天候のなか「びわこ集会」には1000人を超える人々が参加し、組合員や家族、先輩組合員、さまざまなネットワークから6人が参加しました。生涯学習センター1階ホールで行われた福島出身の講師 談師神田香織さんのトークショーは満席の盛況となり

に、EU域内、ユーロ圏内で格差が顕著になりつつある」としており、今後「厳しい」と見る向きが多いようだ。日本については、依然デフレ不況が続いている。昨年12月に誕生した安倍総理は「デフレ不況からの脱却」として選挙前から政策提言をし、市場も非常に高い期待感をもつ

「闘いは、明るく、楽しく、しつっこく」

「闘いは、明るく、楽しく、しつっこく」



協中央会からもメッセージが寄せられました。最後に集会アピール(裏面に掲載)を採択し、午後3時からのパルコ前までのパレード・デモは、雨も上がり800人が参加し「大飯原発止めろ」「すべての原発廃炉」「命とびわ湖を守れ」と訴えてパレード・デモを行いました。



でシユプレビコールの練習もするなど元気をもらったトークショーでした。また同会場3の原爆展や映画「シエーナウの想い」にも多数の人が詰め掛けました。

訴訟と市民の声が再稼働をとめている

膳所公園内では10時から「こだわりマーケット」や「各団体の企画ブース」など40近い出店がされ、野外ステージでは8組のライブと多数のリレートークが元氣いっぱい続けられました。午後2時半から野外ステージで行われた「びわこ集会」では井戸謙一弁護士が「訴訟と市民の声が再稼働をとめている」等と特別報告がされました。

# 原発のない社会へ びわこ集会 アピール

ともに考えてみましょう

放射能のためにのびのびと外で遊べない子どもたちのことを  
ある日突然、家族が離ればなれに生活をしなければならない現実を

ともに考えてみましょう

先祖代々耕してきた農地で耕作を許されない無念さを  
孫に食べさせていた自慢の魚を廃棄せざるを得ない悔しさを  
補償も満足に受けられず、明日の糧を得るすべを断られた不安を

ともに考えてみましょう

膨大な死の灰の負担を半永久的に押しつけられる子孫のことを  
甲状腺ガンがすでに10人も発生し、私の子は大丈夫だろうかと思つづける思いで  
いる親の気持ちを

ともに考えてみましょう

高線量の放射線にさらされながら収束作業に従事している労働者がいることを  
ゼネコンに搾取されながら除染作業に携わる地元労働者のことを

日本国憲法で保障された幸福を追求する権利や平和的に生きる権利、当然保障されなければならぬ人権が踏みにじられている現実には私たちは直面しています。そして、この現実実は、原子力発電所さえなければ起こるはずのなかったことです。原発事故は収束するどころか、未だに被害は拡大し続けています。

さらに追い打ちをかけるように、政府は、原子力規制委員会が7月に策定する「新安全基準」をデコに原発の再稼働を強行しようとしています。

東京電力は、事故の反省もなく一方的に賠償の多くを打ち切る暴挙に出ました。

関西電力をはじめ電気事業者は、原発安全神話への反省もなく、電気料金値上げという脅しで再稼働をねらっています。

これらは、福島第一原発事故が引き起こした現実から導き出される答えではありません。「放射能がなくなって初めて復興したと言える」という原発事故被災者の声を聞きました。この言葉と事故の現実から、導き出される答えはただ一つ。

「原発のない社会」の実現です。「いのちとびわ湖」をまもるために、すべての県民が力をあわせて進みましょう。

大飯原発3、4号機は直ちに停止を。原発再稼働反対。原発の新設・増設反対。すべての原発を廃炉へ。原発事故被災者に十分な支援と補償を。

2013年3月10日

原発のない社会へ びわこ集会 参加者一同

長浜市では、10日に「日本の青空Ⅲ・渡されたバトン〜さよなら原発〜」の上映会が開かれ、11日は午後6時から長浜駅前東

2年前の福島原発事故は、原発がひとたび事故をおこせば、時間的にも空間的にも被害が広がりがつづき、他の事故にはない「異質の危険」をもつことをまざまざと示しました。もはや原発と人類が共存できないことは明らかで、原発は今すぐなくすしかありません。しかし、安倍政権が「原発ゼロ」を否定し、原発の再稼働や新設を公言しています。

「渡されたバトン」の映画のように、粘り強くあきらめずがんばっていきましょう。11日の夕方からの集会やデモ行進にも参加しました。これからも毎月11日に

集会・学習会・デモなどが行われます。積極的に参加するとともに、「原発ゼロ」を訴えていきたいと、みんなで誓い合いました。(機関紙「さざなみ」より)



## 被災者本位の復興を 原発ゼロを実現する政治に変えよう 3.11「原発ゼロへ」長浜集会 映画「渡されたバトン〜さよなら原発」 4半世紀のたたかいで原発阻止

口前で3・11「原発ゼロへ」長浜集会が開かれました。さまざまなネットからそれぞれ2人が参加しました。映画「渡されたバトン〜さよなら原発〜」は、今から44年前の1969年、過疎化の進む新潟県西蒲原郡巻町(現在新潟市)で原発建設計画が公表され、何十億円もの協力金や補助金に群がる人々は、あの手この手で計画推進をはじめましたが、4半世紀という長年にわたる粘り強い真摯なたたかいで、住民投票を実現し、原発を阻止した波乱に満ちた実話をベースに映画化されたものです。

「渡されたバトン」の映画のように、粘り強くあきらめずがんばっていきましょう。11日の夕方からの集会やデモ行進にも参加しました。これからも毎月11日に



3.11「原発ゼロへ」長浜集会の様相

### 職場の声

なんでもパワハラ？

毎週毎週、飲み誘われ、断れば皮肉を言ってくる上司。

ついて行きたくても度重なれば、お金もかかり、家計を圧迫するし、家庭や子供のことも考えます。参加しないと「協調性がない」と言われる。これもパワハラの一つ？

行きたくない店！

「相変わらず〇〇支店は、大変みたい。早帰りの日も当番役席は夜9時らしいです」「時間外つけられてる人が何人な

のかわからないです」未だにそんなことを続けている銀行には、どんなお灸が効くのかな？

高齢者の待遇改善を！

現在、有期労働者ですが、最長の65歳まで勤務を継続していく意欲を持っています。しかし、今の賃金水準では生活が苦しい状態です。

私は、高齢者ではありますが、まだまだ現役者と思われたい仕事をしています。

従業員組合に「働きがいがあるような高齢者の待遇改善」を頑張っています。